# 令和７年度　江戸川区立鹿骨松本小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 学校教育目標 | ○よく考える子　○思いやりのある子　○たくましい子 | | 目指す学校像<br>目指す児童像<br>目指す教師像 | ○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」の育成を果たす学校<br>○「よく考える子」「思いやりのある子」「たくましい子」<br>○安心できる学校づくりに邁進し、一人一人に応じた指導ができる教師 |
| 前年度までの本校の現状 | 成果 | ○基礎・基本的な定着を目指した指導を、年間を通して実施したことで、学習に前向きに取り組む児童が増えた。<br>○様々な取組を通して、児童が落ち着いて生活できる環境を整えることができた。 | 課題 | ○児童の学習の基礎・基本の更なる定着や主体的・対話的で深い学びとなる授業スタイルの確立などが早急の課題である。家庭との連携も含めた学力の向上について考えていきたい。<br>○開校記念式典に向け、地域との連携をさらに深めていきたい。 |

| 重点 | 取組項目 | 具体的な取組内容 | 数値目標 | 達成度 | | 「中間」自己（学校）評価(A～D) | | 「中間」学校関係者評価(A～D) | | 「年度末」自己（学校）評価（A～D） | | 「年度末」学校関係者評価（A～D） | | 次年度に向けた改善案 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | ９月 | ２月 | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | 評価 | コメント | |
| 学力の向上 | ○授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実 | ・週３回以上の全校一斉朝学習の実施及び東京ベーシックドリル診断結果に基づいた個人カルテの作成 | ・児童へのアンケート結果で、80%以上の児童が「学力を高めようとしている」と回答 | | | | | | | | | | | |
| | | ・年３回の「江戸川っ子study week」による家庭学習及びミライシード活用の推進 | ・児童へのアンケート結果で、８０%以上の児童が「すすんで学習に取り組む」と回答 | | | | | | | | | | | |
| | ○読書科の更なる充実 | ・昼読書の設定及び学校図書館の環境整備 | ・週３回以上の昼読書の実施及び夏休み期間中の集中環境整備 | | | | | | | | | | | |
| 体力の向上 | ○個に応じた体力向上のための取り組みの実施・充実 | ・「江戸川っ子縄跳びチャレンジ」の推進 | ・各学期２週間の実施 | | | | | | | | | | | |
| | | ・運動量が確保された体育授業の実施 | ・児童へのアンケート結果で、９０%以上の児童が「体育や外遊びなど、体を動かすことか好き」と回答 | | | | | | | | | | | |
| | | ・年間を通して、体育の時間で主運動につながる補助運動の実施 | ・体力調査の項目において全項目の６０%以上で区平均を上回る | | | | | | | | | | | |
| 共生社会の実現に向けた教育の推進 | ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 | ・SCやSSW、巡回指導、通級指導、特別支援教室専門員との連携 | ・毎月1回、通常学級担当教員と特別支援教育担当教員の打ち合わせを実施 | | | | | | | | | | | |
| | ○エンカレッジルームの活用促進 | ・不登校児童や別室指導の児童を含む全児童の居場所づくり | ・児童へのアンケート結果で、９０%以上の児童が「学校に居場所がある」と回答 | | | | | | | | | | | |
| | ○副籍交流、交流及び共同学習の実施充実 | ・年間指導計画に基づいた交流及び共同学習の実施 | ・各学期1回以上の実施 | | | | | | | | | | | |
| 不登校・いじめ対応の充実 | ○豊かな心の育成 | ・異学年交流や地域資源を生かした活動などの充実 | ・児童へのアンケート結果で、９０%以上の児童が「学校が楽しい」と回答 | | | | | | | | | | | |
| | ○L-Gateの活用 | ・問題行動の未然防止、早期発見・早期対応 | ・全学級、毎朝のL-Gate及び教職員間での情報共有を実施し、いじめ解消率１００% | | | | | | | | | | | |
| | ○教育相談の強化 | ・ＳＣ、ＳＳＷ他関係機関との連携強化 | ・不登校児童とのＳＣ、ＳＳＷ他関係機関との連携率100% | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 地域社会に開かれた学校の実現 | ○学校ホームページの充実 | ・学校ホームページの毎日の更新 | ・学校関係者評価、保護者アンケートの学校の情報発信について、肯定的に回答する割合が９０%以上 | | | | | | | | | | | | |
| | ○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施 | ・年３回の学校関係者評価の開催 | ・事前に学校関係者評価の内容を学校評議員に提示し、課題や取組を明確にして学校参観を実施し、評価につなげる。 | | | | | | | | | | | | |
| | ○学校公開の実施・充実 | ・教育活動の積極的な公開 | ・各学期１回以上の公開日の設定及び参観者アンケートの実施 | | | | | | | | | | | | |
| 特色ある教育の展開 | ○愛校心を醸成する教育活動 | ・全児童によるヤギ飼育及び地域の花園と連携した活動 | ・児童へのアンケート結果で、９０%以上の児童が「学校が好き・地域が好き」と回答 | | | | | | | | | | | | |
| | ○教員研修の実施 | ・教員の組織的な育成 | ・全教員年３回の授業観察・授業公開及び年間を通じたＯＪＴ研修の実施 | | | | | | | | | | | | |
| | ○働き方改革の推進 | ・毎月の定時退勤日の設定 | ・１か月の残業時間が６０時間を超える教職員が０人 | | | | | | | | | | | | |